

# ZABBIX 運用マニュアル

---

ミラクル・リナックス株式会社

バージョン: 1.4



## 変更履歴

日付	作成者	バージョン	変更内容
2008/02/21	寺島 広大	1.0	新規作成
2008/03/07	寺島 広大	1.1	以下の項目を追記 ・ 監視対象機器の設定を変更する ・ 監視項目を有効/無効にする ・ システムマップを変更する ・ 設定ファイル・ログファイル
2008/09/30	青山 雄一	1.2	スクリーンショット差替
2008/11/27	青山 雄一	1.3	Zabbix 1.6 対応
2008/12/08	寺島 広大	1.4	フォーマットの変更、一部誤りを修正

## 1 目次

2	はじめに .....	5
2.1	前提知識(用語集) .....	5
2.1.1	ホスト .....	5
2.1.2	アイテム.....	5
2.1.3	トリガー .....	5
2.1.4	アクション .....	5
3	ZABBIX Web インターフェースのアクセス方法.....	6
3.1	アクセス方法 .....	6
3.2	ログイン/ログアウト方法 .....	6
3.2.1	ログイン.....	6
3.2.2	ログアウト.....	6
3.3	基本的な操作方法 .....	7
3.4	本ドキュメントで使用するメニュー一覧.....	7
4	監視データの閲覧 .....	8
4.1	稼動状況のサマリを表示する (ダッシュボード).....	8
4.2	トリガーのステータス、監視データの一覧を表示する (概要).....	9
4.3	トリガーのステータスの一覧表示 .....	9
4.3.1	監視データの一覧表示 .....	9
4.4	監視データの最新値を表示する (最新データ).....	10
4.4.1	ホストごとのアイテムデータ一覧を表示する.....	10
4.4.2	アイテムごとのグラフを表示する .....	11
4.4.3	アイテムごとのデータ履歴を表示する .....	12
4.5	障害/復旧状態の監視項目一覧を表示する (トリガー).....	12
4.6	障害/復旧の履歴を表示する (イベント).....	13
4.7	システムマップを表示する (マップ) .....	13
4.8	カスタムグラフを表示する (グラフ).....	14
4.9	複数のカスタムグラフを1画面に表示する (スクリーン).....	15
4.10	ZABBIX サーバの状態を表示する (ZABBIX サーバの状態).....	15

4.11	稼働率を表示する (稼働レポート).....	16
4.12	障害が多く発生している項目上位 100 を表示する (障害発生上位 100 項目) .....	16
4.13	設定変更の履歴を表示する (監査).....	16
4.14	障害通知数の履歴を表示する (通知レポート).....	17
5	設定を変更する.....	18
5.1	監視対象機器の設定を変更する (ホスト).....	18
5.1.1	ホストの監視を有効/無効にする .....	18
5.1.2	ホストを追加する.....	18
5.2	監視項目を有効/無効にする (アイテム).....	19
5.3	障害検知の閾値を設定する (トリガー).....	19
5.4	システムマップを変更する (マップ) .....	21
5.4.1	ホストのアイコンを追加する.....	21
5.4.2	ネットワーク接続を追加する.....	22
5.5	ユーザとメールアドレスを設定する (ユーザ).....	23
6	付録.....	24
6.1	設定ファイル・ログファイル .....	24
6.1.1	ZABBIX サーバ.....	24
6.1.2	ZABBIX エージェント.....	24

## 2 はじめに

本書は ZABBIX 1.6 の運用管理マニュアルです。より詳細な情報は、ZABBIX マニュアルを参照してください。

### 2.1 前提知識(用語集)

ZABBIX を利用するにあたり、必要となる用語の解説を行います。

#### 2.1.1 ホスト

ZABBIX では、監視対象となるサーバやネットワーク機器のことをホストと呼びます。

#### 2.1.2 アイテム

ZABBIX では、監視項目のことをアイテムと呼びます。アイテムはホストごとに監視項目単位で設定されており、決められた間隔でデータを収集・保存し続けています。各アイテムの収集データは、90 日間(デフォルト値)取得データがそのまま保存されていますが、90 日を越えて 365 日(デフォルト値)まではグラフ用のデータのみが保存されます。365 日を越えたデータは自動的に破棄されます。

#### 2.1.3 トリガー

ZABBIX では、各アイテムに対して障害を検知する閾値条件を設定することができ、その設定をトリガーと呼びます。トリガーには正常(閾値条件が偽の場合)、障害(閾値条件が真の場合)、不明(データが取得できていない、閾値条件設定が間違っているなどの場合)の状態が存在します。ZABBIX Web インターフェース上では、それぞれの状態は緑、赤、グレーで表示されます。下記にトリガーの状態と色の対応表を記載します。

トリガーの状態	トリガー条件式	表示色
正常	偽	緑
障害	真	赤
不明	----	グレー

#### 2.1.4 アクション

ZABBIX では、各トリガーの状態が正常から障害、障害から正常に切り替わった場合にメールの送付やスクリプトの実行を行うことができ、その設定や動作のことをアクションと呼びます。

### 3 ZABBIX Web インターフェースのアクセス方法

ZABBIX の監視設定や監視データの表示はすべてブラウザを利用して Web インターフェースから実施します。ここでは、ZABBIX Web インターフェースの利用方法と基本的な操作方法を解説します。

#### 3.1 アクセス方法

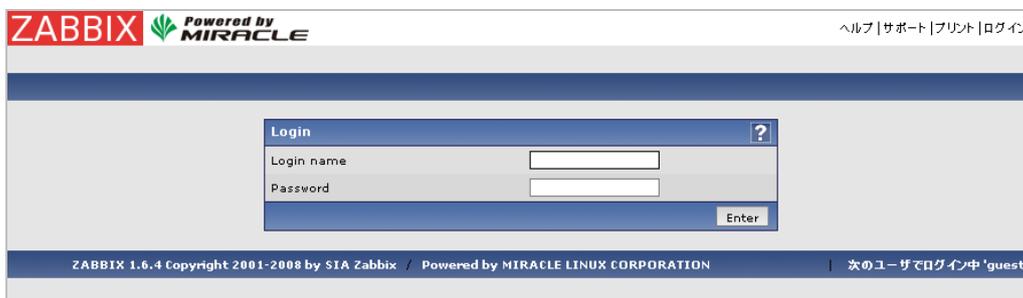
ZABBIX Web インターフェースがインストールされているサーバにアクセスできる作業 PC のブラウザから、下記の URL にアクセスします。

- ✓ `http://<ZABBIX Web インターフェースがインストールされているサーバのホスト名>/zabbix`

#### 3.2 ログイン/ログアウト方法

##### 3.2.1 ログイン

上記の URL にアクセスすると下記の画面が表示されるため、指定されたアカウント名とパスワードを入力し Enter をクリックします。下記の画面が表示されていない場合は、メニューから[ログイン]をクリックします。



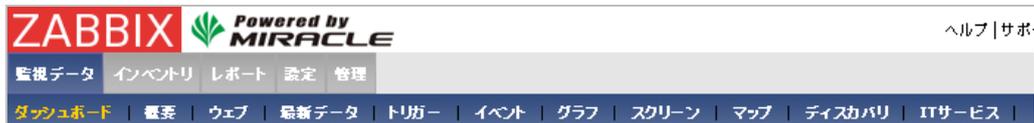
##### 3.2.2 ログアウト

画面右上の「ログアウト」をクリックします。



### 3.3 基本的な操作方法

ZABBIX Web インターフェースの画面上部には、2 列のメニューが常に表示されています。このメニューを利用して各機能の画面を表示することができます。



また、各画面の左上には、グループ、ホスト、機能などを選択するためのドロップダウンが表示される場合があります。このドロップダウンを選択することにより、グループの絞り込みや表示するホストの選択などを行うことができます。



### 3.4 本ドキュメントで使用するメニュー一覧

本ドキュメントで使用する各メニューの一覧を以下に示します。

1 列目	2 列目	機能概要
監視データ	ダッシュボード	システム全体の稼働状況のサマリを表示する
	概要	稼働状況、監視データの一覧をマトリックス表示する
	最新データ	監視データの最新値を表示する
	トリガー	障害の状態になっているトリガーを一覧表示する
	イベント	障害/復旧の履歴を表示する
	グラフ	カスタムグラフを表示する
	スクリーン	複数のグラフやマップを 1 画面に表示する
	マップ	システムマップを表示する
レポート	ZABBIX サーバの状態	ZABBIX サーバの稼働状況を表示する
	稼働レポート	トリガーの稼働率を表示する

	障害発生件数上位 100 項目	障害が多く発生している監視項目の上位 100 を表示する
設定	トリガー	障害検知の設定であるトリガーを設定する
管理	ユーザ	ユーザアカウントと通知用メールアドレスを設定する
	監査	ログインや設定変更の監査履歴を表示する
	通知レポート	障害通知数の履歴を表示する

## 4 監視データの閲覧

ZABBIX は監視対象から定期的にデータを収集し、データベースに保存しています。収集したデータを利用して、障害検知やグラフ表示、システムマップ表示などを行うことができます。

### 4.1 稼働状況のサマリを表示する (ダッシュボード)

メニューから [監視データ]⇒[ダッシュボード]をクリックします。この画面では、システム全体の稼働状況の要約を表示します。ここでは、ホストグループごとの重要度別障害件数、直近のイベント情報、ホストグループごとの Web の状態が表示されます。

The screenshot shows the ZABBIX 1.6.4 dashboard. The main content area is titled 'システムステータス' (System Status) and contains several sections:

- システムステータス:** A table showing the status of host groups.

ホストグループ	致命的な障害	重症の障害	軽度の障害	警告	情報	未分類
Linux servers	0	0	0	0	0	0
Network	0	0	5	0	0	0
ZABBIX Servers	0	0	0	0	0	0
- ZABBIXサーバの状態:** A section for ZABBIX server status.
- 最新 20 件の問題:** A table showing the most recent problems.

ホスト	問題	最新の変更	経過時間	障害対応コメント	アクション
...					
- ウェブ監視:** A table showing the status of web services.

ホストグループ	正常	失敗	遷移中	不明
Linux servers	10	0	0	0
ZABBIX Servers	1	0	0	0

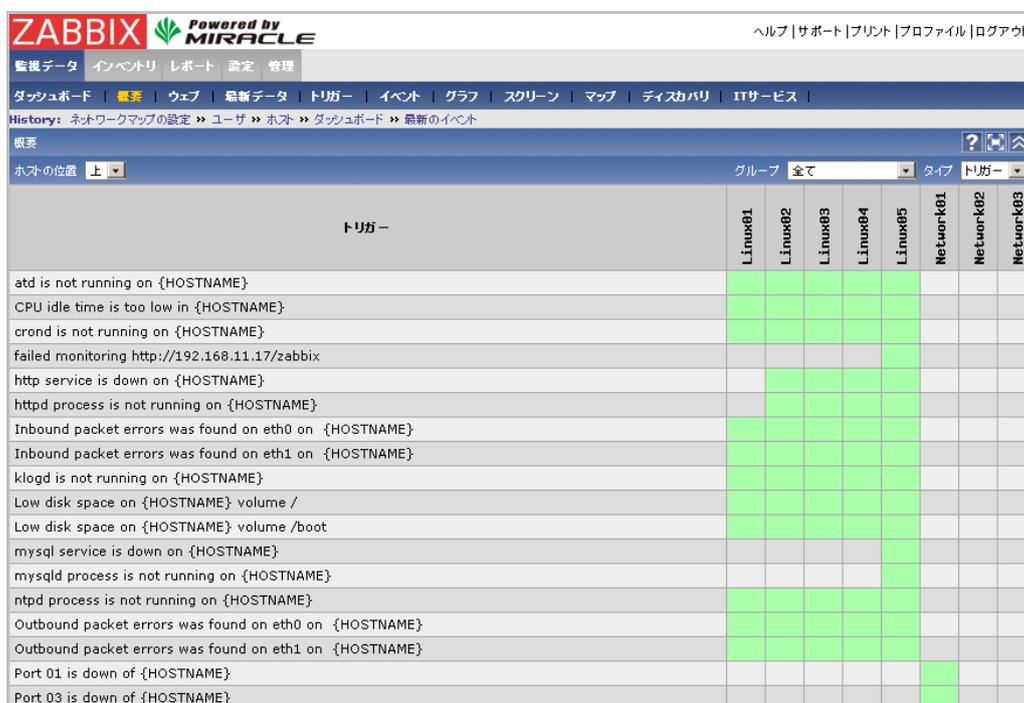
The footer of the dashboard displays: ZABBIX 1.6.4 Copyright 2001-2008 by SIA Zabbix / Powered by MIRACLE LINUX CORPORATION | 次のユーザでログイン中 'Admin'

## 4.2 トリガーのステータス、監視データの一覧を表示する（概要）

メニューから [監視データ]⇒[概要]をクリックします。この画面では、全ホストまたはホストグループごとに、トリガーのステータスや監視データの一覧を表示することができます。

## 4.3 トリガーのステータスの一覧表示

タイプドロップダウンからトリガーを選択すると、トリガーのステータスの一覧を表示します。この画面では、複数サーバのトリガーステータスを一覧表示することができます。各項目の色はトリガーのステータスに関連しています。



トリガー	Linux01	Linux02	Linux03	Linux04	Linux05	Networ-k01	Networ-k02	Networ-k03
atd is not running on {HOSTNAME}								
CPU idle time is too low in {HOSTNAME}								
crond is not running on {HOSTNAME}								
failed monitoring http://192.168.11.17/zabbix								
http service is down on {HOSTNAME}								
httpd process is not running on {HOSTNAME}								
Inbound packet errors was found on eth0 on {HOSTNAME}								
Inbound packet errors was found on eth1 on {HOSTNAME}								
klogd is not running on {HOSTNAME}								
Low disk space on {HOSTNAME} volume /								
Low disk space on {HOSTNAME} volume /boot								
mysql service is down on {HOSTNAME}								
mysqld process is not running on {HOSTNAME}								
ntpd process is not running on {HOSTNAME}								
Outbound packet errors was found on eth0 on {HOSTNAME}								
Outbound packet errors was found on eth1 on {HOSTNAME}								
Port 01 is down of {HOSTNAME}								
Port 03 is down of {HOSTNAME}								

### 4.3.1 監視データの一覧表示

タイプドロップダウンリストからデータを選択すると、取得データ一覧を表示します。この画面では、複数サーバの最新のアイテムデータを一覧表示することができます。

アイテム	Linux#1	Linux#2	Linux#3	Linux#4	Linux#5	Networ#01	Networ#02	Networ#03
Available memory	2.64 GB	3.16 GB	3.21 GB	3.24 GB	3.27 GB	-	-	-
Buffers memory	169.46 MB	202.84 MB	195.20 MB	181.09 MB	195.06 MB	-	-	-
Cached memory	1.06 GB	1.52 GB	1.11 GB	1.01 GB	1.56 GB	-	-	-
CPU idle time	96.71	98.89	98.70	99.07	91.65	-	-	-
CPU nice time	0	0	0	0	0.05	-	-	-
CPU system time	0.56	0.35	1.02	0.26	0.58	-	-	-
CPU user time	2.20	0.47	4.84	0.26	3.83	-	-	-
CPU interrupts	98375844	272971595	271701870	271273438	92560458	-	-	-
Disk read operations on sda1	0	0	0	0	0	-	-	-
Disk read operations on sda2	0	0	0	0	0	-	-	-
Disk read operations on sda3	0	0	0	0	1	-	-	-
Disk write operations on sda1	0	0	0	0	0	-	-	-
Disk write operations on sda2	0	0	0	0	0	-	-	-
Disk write operations on sda3	6	10	6	4	29	-	-	-
Download speed for scenario 'Web monitor to NsClif of dtks020101'	58.37 Kbps	-	-	-	-	-	-	-
Download speed for scenario 'Web monitor to NsPcClient of dtks020201'	62.81 Kbps	-	-	-	-	-	-	-
Download speed for scenario 'Web monitor to NsPcClient of dtks020301'	73.08 Kbps	-	-	-	-	-	-	-
Download speed for scenario 'Web monitor to ZABBIX'	-	-	-	-	35.34 Kbps	-	-	-
Download speed for scenario 'Web monitor to NsFmIf of dtks020101'	2.84 Kbps	-	-	-	-	-	-	-
Download speed for scenario 'Web monitor to NsPcClient of dtks020101'	426 bps	-	-	-	-	-	-	-
Download speed for scenario 'Web monitor to NsFmIf of dtks020201'	2.41 Kbps	-	-	-	-	-	-	-
Download speed for scenario 'Web monitor to NsClif of dtks020201'	71.52 Kbps	-	-	-	-	-	-	-
Download speed for scenario 'Web monitor to NsFmIf of dtks020301'	2.81 Kbps	-	-	-	-	-	-	-
Download speed for scenario 'Web monitor to NsClif of dtks020301'	83.95 Kbps	-	-	-	-	-	-	-

## 4.4 監視データの最新値を表示する (最新データ)

メニューから [監視データ]⇒[最新データ]をクリックします。この画面では、ホストごとの最新アイテムデータの一覧、アイテムごとのグラフや履歴を表示することができます。

### 4.4.1 ホストごとのアイテムデータ一覧を表示する

ホストドロップダウンからホストを指定することで、最新アイテムデータの一覧を表示することができます。カテゴリごとに折りたたまれている場合は、左にある「+」ボタンを押すことで広げることができます。

名前 ▲	最新のチェック	最新の値	変更	ヒストリ
<b>Availability (1 アイテム)</b>				
Ping	11-12 15:58:53	Up (1)	-	グラフ
<b>CPU (8 アイテム)</b>				
CPU idle time	11-12 15:58:19	96.71	+0.03	グラフ
CPU nice time	11-12 15:54:22	0	-0	グラフ
CPU system time	11-12 15:54:25	0.56	-0.49	グラフ
CPU user time	11-12 15:54:28	2.20	-3.33	グラフ
CPU interrupts	11-12 15:59:13	98375844	-	グラフ
Load Average avg15	11-12 15:59:14	0.34	-0.06	グラフ
Load Average avg1	11-12 15:59:15	0.17	+0.05	グラフ
Load Average avg5	11-12 15:59:16	0.27	-0.11	グラフ
<b>Disk (6 アイテム)</b>				
Disk read operations on sda1	11-12 15:57:56	0	-	グラフ
Disk read operations on sda2	11-12 15:57:58	0	-	グラフ
Disk read operations on sda3	11-12 15:57:58	0	-	グラフ
Disk write operations on sda1	11-12 15:58:05	0	-	グラフ
Disk write operations on sda2	11-12 15:58:06	0	-	グラフ
Disk write operations on sda3	11-12 15:58:07	6	-	グラフ
<b>Filesystem (4 アイテム)</b>				
Free disk space on /	11-12 15:55:26	31.57 GB	-	グラフ
Free disk space on /boot	11-12 15:55:21	81.92 MB	-	グラフ
Used disk space on / in %	11-12 15:55:16	39.55 %	+0 %	グラフ
Used disk space on /boot in %	11-12 15:55:22	11.85 %	-	グラフ

#### 4.4.2 アイテムごとのグラフを表示する

最新アイテムデータ一覧表示の画面から、各項目の左にある「グラフ」をクリックすることで、アイテムごとのグラフを作成することができます。



### 4.4.3 アイテムごとのデータ履歴を表示する

アイテムごとのグラフ表示画面のドロップダウンリストから、「値」を選択することで特定期間のデータを、「最新 500 個の値」を選択することで、過去 500 データを一覧表示することができます。



タイムスタンプ	値
2009.Nov.12 15:59:15	0.1700
2009.Nov.12 15:54:15	0.1200
2009.Nov.12 15:49:15	0.9800
2009.Nov.12 15:44:15	0.4000
2009.Nov.12 15:39:15	0.1600
2009.Nov.12 15:34:15	1.7100
2009.Nov.12 15:29:15	0.0800
2009.Nov.12 15:24:15	0.1100
2009.Nov.12 15:19:15	0.8100
2009.Nov.12 15:14:15	0.1400
2009.Nov.12 15:09:15	0.1100
2009.Nov.12 15:04:15	0.6300
2009.Nov.12 14:59:15	0.0900
2009.Nov.12 14:54:15	0.1200
2009.Nov.12 14:49:15	0.5100

### 4.5 障害/復旧状態の監視項目一覧を表示する (トリガー)

メニューから [監視データ]⇒[トリガー]をクリックします。この画面では、障害が発生している監視項目、直近に障害から復旧した監視項目の一覧を表示することができます。



深刻度	ステータス	最新の変更	ホスト	名前	コメント
警告		11-27 15:41:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	追加
警告	障害	11-12 12:22:16	Virtual Machine 02	Virtual Machine 02 power is not On	追加
警告	障害	11-12 12:19:37	Virtual Machine 06	Virtual Machine 06 VMwareTools is not available	追加
警告	障害	11-12 12:19:33	Virtual Machine 02	Virtual Machine 02 VMwareTools is not available	追加
軽度の障害	障害	11-12 12:19:29	ESX3.5	VMware ESX status	追加
警告	障害	11-12 12:19:23	Virtual Machine 04	Virtual Machine 04 VMwareTools is not available	追加

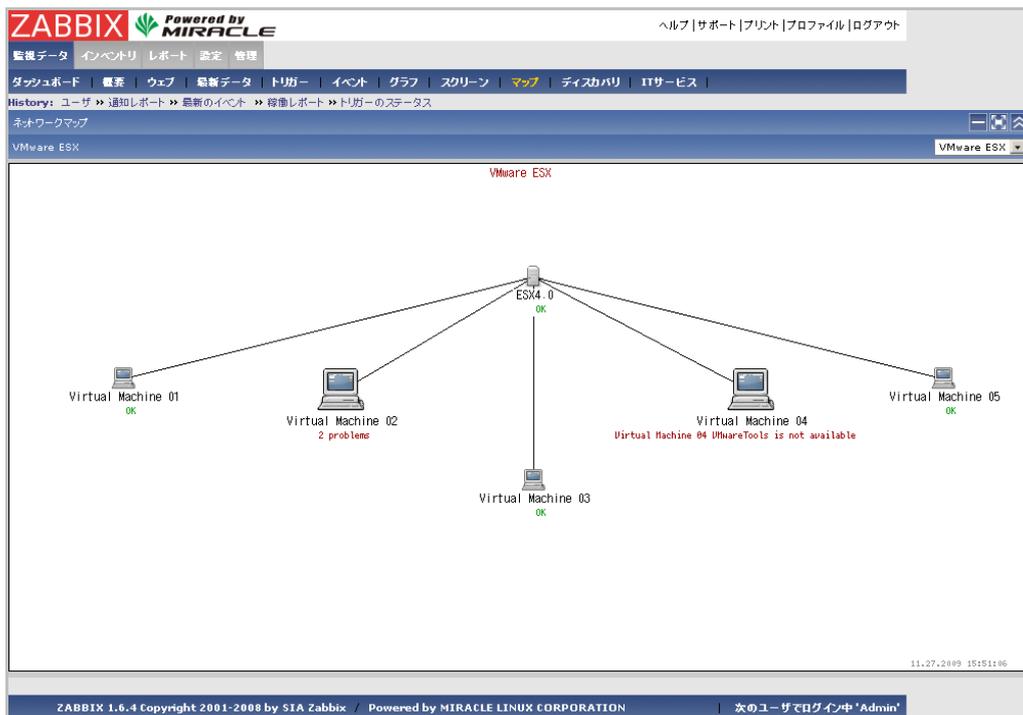
## 4.6 障害/復旧の履歴を表示する (イベント)

メニューから [監視データ]⇒[イベント]をクリックします。この画面では、過去に発生した障害と復旧の履歴を確認することができます。

時間	ホスト	名前	ステータス	深刻度	期限	障害対応コメント	アクション
2009.Nov.27 15:41:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	正常	警告	6m 16s	しりえ	-
2009.Nov.27 15:36:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	障害	警告	5m 0s	しりえ	-
2009.Nov.27 15:31:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	正常	警告	5m 0s	しりえ	-
2009.Nov.27 15:21:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	障害	警告	10m 0s	しりえ	-
2009.Nov.27 14:21:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	正常	警告	1h 0s	しりえ	-
2009.Nov.27 14:11:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	障害	警告	10m 0s	しりえ	-
2009.Nov.27 14:01:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	正常	警告	10m 0s	しりえ	-
2009.Nov.27 13:56:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	障害	警告	5m 0s	しりえ	-
2009.Nov.27 13:31:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	正常	警告	25m 0s	しりえ	-
2009.Nov.27 13:26:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	障害	警告	5m 0s	しりえ	-
2009.Nov.27 13:16:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	正常	警告	10m 0s	しりえ	-
2009.Nov.27 13:11:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	障害	警告	5m 0s	しりえ	-
2009.Nov.27 07:01:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	正常	警告	6h 10m 0s	しりえ	-
2009.Nov.27 06:56:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	障害	警告	5m 0s	しりえ	-
2009.Nov.27 06:46:16	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	正常	警告	9m 59s	しりえ	-
2009.Nov.27 06:41:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	障害	警告	5m 1s	しりえ	-
2009.Nov.27 06:31:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	正常	警告	10m 0s	しりえ	-
2009.Nov.27 06:16:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	障害	警告	15m 0s	しりえ	-
2009.Nov.27 06:11:15	ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	正常	警告	5m 0s	しりえ	-

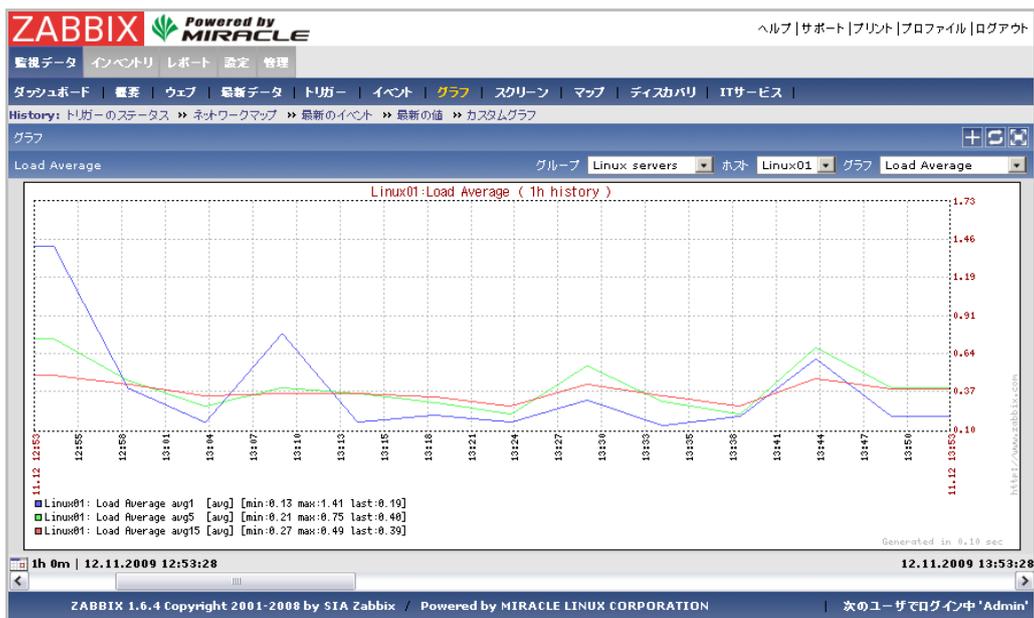
## 4.7 システムマップを表示する (マップ)

メニューから [監視データ]⇒[マップ]をクリックします。この画面では、システムマップを確認することができます。システムマップ上では、障害が発生しているホストは大きく表示され、付近に障害の詳細が赤字で表示されます。また、障害が発生しているネットワークは赤い太線で表示されます。各ホストをクリックすることで、そのホストの障害/復旧状態の一覧を見ることができます。



## 4.8 カスタムグラフを表示する (グラフ)

メニューから [監視データ]⇒[グラフ]をクリックします。この画面では、あらかじめ設定しておいたカスタムグラフを表示することができます。グラフ下のスクロールバーを移動させる、または画面左下のカレンダーアイコンをクリックし直接日時を指定することで、さまざまな日時、期間でグラフを表示することができます。



## 4.9 複数のカスタムグラフを 1 画面に表示する (スクリーン)

メニューから [監視データ]⇒[スクリーン]をクリックします。この画面では、複数カスタムグラフを 1 つの画面に並べて表示することができます。



## 4.10 ZABBIX サーバの状態を表示する (ZABBIX サーバの状態)

メニューから [レポート]⇒[ZABBIX サーバの状態]をクリックします。この画面では、ZABBIX サーバの状態、保存されている設定データ数を確認することができます。

パラメータ	値	詳細
ZABBIXサーバの起動	はい	-
ホスト数 (有効/無効/テンプレート/削除済)	79	8 / 0 / 71
アイテム数 (有効/無効/取得不可)[トラップバー]	1935	1068 / 859 / 8
トリガー数 (有効/無効)[障害/不明/正常]	592	149 / 443 [0 / 149 / 0]
ユーザ数 (オンライン)	2	1
1秒あたりの監視項目数(ZABBIXサーバの要求パフォーマンス)	3,6934	-

## 4.11 稼働率を表示する（稼働レポート）

メニューから [レポート]⇒[稼働レポート]をクリックします。この画面では、トリガーごとに今年の稼働率を表示することができます。

ホスト	名前	警告	正常	不明	グラフ
ESX3.5	/ space is too low on ESX3.5	0.0000%	83.7761%	16.2239%	表示
ESX3.5	/boot space is too low on ESX3.5	0.0000%	83.7761%	16.2239%	表示
ESX3.5	/var/log space is too low on ESX3.5	0.0000%	83.7761%	16.2239%	表示
ESX3.5	Ballonn driver is active on ESX3.5	20.9140%	62.8459%	16.2401%	表示
ESX3.5	Datastore status	0.0000%	83.7583%	16.2417%	表示
ESX3.5	Inbound packet errors was found on vmnic0 on ESX3.5	0.0000%	83.7776%	16.2224%	表示
ESX3.5	Inbound packet errors was found on vswifi0 on ESX3.5	0.0000%	83.7738%	16.2262%	表示
ESX3.5	number of running vms is changed on ESX3.5	0.0750%	83.6994%	16.2256%	表示
ESX3.5	number of vms changed on ESX3.5	0.0261%	83.7482%	16.2257%	表示
ESX3.5	Outbound packet errors was found on vmnic0 on ESX3.5	0.0000%	83.7739%	16.2261%	表示
ESX3.5	Outbound packet errors was found on vswifi0 on ESX3.5	0.0000%	83.7747%	16.2253%	表示
ESX3.5	storage1 space is too low on ESX3.5	0.0000%	83.7306%	16.2694%	表示
ESX3.5	Virtual switch status	0.0000%	83.7585%	16.2415%	表示
ESX3.5	VMware ESX status	83.7584%	0.0000%	16.2416%	表示
ESX4.0	/ space is too low on ESX4.0	0.0000%	83.7780%	16.2220%	表示
ESX4.0	/boot space is too low on ESX4.0	0.0000%	83.7780%	16.2220%	表示
ESX4.0	/var/log space is too low on ESX4.0	0.0000%	83.7780%	16.2220%	表示
ESX4.0	Ballonn driver is active on ESX4.0	0.0000%	83.7538%	16.2462%	表示
ESX4.0	Datastore status	0.0000%	83.7521%	16.2479%	表示

## 4.12 障害が多く発生している項目上位 100 を表示する（障害発生上位 100 項目）

メニューから [レポート]⇒[障害発生上位 100 項目]をクリックします。この画面では、設定されているトリガーすべてのうち、もっとも障害が多く発生しているトップ 100 を、障害回数とともに表示することができます。

## 4.13 設定変更の履歴を表示する（監査）

メニューから [管理]⇒[監査]をクリックします。この画面では、設定変更の履歴を表示することができます。

ヘルプ | サポート | プリント | プロファイル | ログアウト

監視データ | イベントリ | レポート | 設定 | 管理

認証 | ユーザ | メディアタイプ | スクリプト | 監査 | キュー | 通知レポート | ロケール | インストール

History: カスタムスクリプト >> ダッシュボード >> ホストプロファイル >> アイテムの設定 >> ホスト

監査ログ | 表示数: 100

フィルター << Prev 100 | Next 100 >>

時間	ユーザ	リソース	アクション	詳細
2009.Nov.27 15:39:21	guest	ユーザ	ログイン	Correct login [admin]
2009.Nov.27 12:34:45	guest	ユーザ	ログイン	Correct login [admin]
2009.Nov.27 12:34:40	Admin	ユーザ	ログアウト	Manual Logout
2009.Nov.27 12:34:34	guest	ユーザ	ログイン	Correct login [admin]
2009.Nov.27 12:34:28	Admin	ユーザ	ログアウト	Manual Logout
2009.Nov.27 12:31:20	guest	ユーザ	ログイン	Correct login [admin]
2009.Nov.26 11:02:22	guest	ユーザ	ログイン	Correct login [admin]
2009.Nov.16 15:48:37	guest	ユーザ	ログイン	Correct login [admin]
2009.Nov.13 15:26:02	guest	ユーザ	ログイン	Correct login [admin]
2009.Nov.13 15:25:57	guest	ユーザ	ログイン	Login failed [admin]
2009.Nov.13 13:31:21	guest	ユーザ	ログイン	Correct login [admin]
2009.Nov.13 11:23:03	guest	ユーザ	ログイン	Correct login [admin]
2009.Nov.12 12:17:49	guest	ユーザ	ログイン	Correct login [admin]
2009.Nov.12 12:17:46	guest	ユーザ	ログイン	Login failed [admin]
2009.Oct.29 16:36:34	Admin	イメージ	更新	Image [Hub] updated
2009.Oct.29 16:36:06	Admin	イメージ	更新	Image [Network (small)] updated
2009.Oct.29 16:35:52	Admin	イメージ	更新	Image [Hub (small)] updated
2009.Oct.29 16:31:01	guest	ユーザ	ログイン	Correct login [admin]
2009.Sep.17 17:24:38	guest	ユーザ	ログイン	Correct login [admin]
2009.Sep.14 14:21:43	guest	ユーザ	ログイン	Correct login [admin]
2009.Sep.11 11:05:50	guest	ユーザ	ログイン	Login failed [admin]
2009.Sep.11 10:18:27	Admin	トリガー	更新	トリガー [13106] [Virtual Machine 03 is not used]

#### 4.14 障害通知数の履歴を表示する (通知レポート)

メニューから [管理]⇒[通知レポート]をクリックします。この画面では、特定期間に通知を行った回数の統計を表示することができます。

ヘルプ | サポート | プリント | プロファイル | ログアウト

監視データ | イベントリ | レポート | 設定 | 管理

認証 | ユーザ | メディアタイプ | スクリプト | 監査 | キュー | 通知レポート | ロケール | インストール

History: 監査 >> トリガーの設定 >> ネットワークマップ >> ネットワークマップの設定 >> ユーザ

通知レポート

メディアタイプ 全て | 期間 毎週 | 年 2009

開始	終了	admin	deno	guest
29 Dec 2008 00:00	05 Jan 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
05 Jan 2009 00:00	12 Jan 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
12 Jan 2009 00:00	19 Jan 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
19 Jan 2009 00:00	26 Jan 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
26 Jan 2009 00:00	02 Feb 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
02 Feb 2009 00:00	09 Feb 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
09 Feb 2009 00:00	16 Feb 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
16 Feb 2009 00:00	23 Feb 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
23 Feb 2009 00:00	02 Mar 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
02 Mar 2009 00:00	09 Mar 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
09 Mar 2009 00:00	16 Mar 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
16 Mar 2009 00:00	23 Mar 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
23 Mar 2009 00:00	30 Mar 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
30 Mar 2009 00:00	06 Apr 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
06 Apr 2009 00:00	13 Apr 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
13 Apr 2009 00:00	20 Apr 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
20 Apr 2009 00:00	27 Apr 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)
27 Apr 2009 00:00	04 May 2009 00:00	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)	0 (0/0/0)

## 5 設定を変更する

ZABBIXはWebインターフェースから監視設定を変更することが可能です。ここでは、監視設定の変更方法について解説します。

### 5.1 監視対象機器の設定を変更する (ホスト)

#### 5.1.1 ホストの監視を有効/無効にする

- ✓ [設定]⇒[ホスト]をクリックします。
- ✓ 各ホストのステータスの列にある「有効」または「無効」をクリックすることで、監視の有効/無効が切り替わります。もしくは、各監視対象の左のチェックボックスにチェックを入れ、下にある「選択を有効」「選択を無効」をクリックすることで、複数の監視対象を同時に設定変更することができます。

#### 5.1.2 ホストを追加する

1. メニューから[設定]⇒[ホスト]をクリックします。
2. 右上の「ホストの作成」をクリックします。
3. 下記の画面が開きます。

The screenshot shows the ZABBIX web interface for configuring a host. The main content area is titled 'ホスト' (Host) and contains the following fields and options:

- 名前** (Name): Text input field.
- グループ** (Group): Two list boxes, 'In グループ' (In Group) and 'その他 グループ' (Other Groups). The 'Other Groups' list includes: Linux servers, Templates, VMware ESX3.5, VMware ESX4.0, Windows servers, and ZABBIX Servers.
- 新規グループ作成** (New Group Creation): Text input field.
- DNS名** (DNS Name): Text input field.
- IPアドレス** (IP Address): Text input field with value '0.0.0.0'.
- 接続方法** (Connection Method): Dropdown menu with 'DNS名' selected.
- ZABBIXエージェントのポート** (ZABBIX Agent Port): Text input field with value '10050'.
- プロキシによる監視** (Proxy-based Monitoring): Dropdown menu with '(プロキシなし)' selected.
- ステータス** (Status): Dropdown menu with '有効' (Active) selected.
- テンプレートとのリンク** (Template Link): Button labeled '追加' (Add).
- IPMIを使用** (Use IPMI): Checkbox, unchecked.
- プロフィールを使用** (Use Profile): Checkbox, unchecked.
- 拡張プロフィールを使用** (Use Extended Profile): Checkbox, unchecked.

At the bottom right of the form are buttons for '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel). The footer of the page reads: 'ZABBIX 1.6.4 Copyright 2001-2008 by SIA Zabbix / Powered by MIRACLE LINUX CORPORATION | 次のユーザーでログイン中 'Admin''.

4. 下記の表を参考に、各項目を入力します。

設定項目	説明
名前	ZABBIX 画面上での表示名を設定
グループ	所属するホストグループを選択
新規グループ	所属するグループを新規作成する場合は、グループ名を設定
DNS 名	監視対象にアクセスする際の DNS 名を設定
IP アドレス	監視対象にアクセスする際の IP アドレスを設定
接続方法	監視対象にアクセスする際に、DNS 名と IP アドレスのどちらを利用するかを選択
ポート	ZABBIX エージェントのポート番号を設定(デフォルト 10050)
ステータス	監視を行うかどうかを選択
テンプレートとのリンク	使用するテンプレートを選択

5. 「保存」をクリックします

## 5.2 監視項目を有効/無効にする (アイテム)

1. [設定]⇒[アイテム]をクリックします。
2. ホストドロップダウンリストから目的のホストを選択します。
3. 無効になっているアイテムが表示されていない場合は、グループドロップダウンの左に「無効化されたアイテムを表示」をクリックし表示させます。
4. 各アイテムのステータスの列にある「有効」または「無効」をクリックすることで、監視の有効/無効が切り替わります。もしくは、各アイテムの左のチェックボックスにチェックを入れ、下にある「選択を有効」「選択を無効」をクリックすることで、複数の監視対象を同時に設定変更することができます。

## 5.3 障害検知の閾値を設定する (トリガー)

1. メニューから[設定]⇒[トリガー]をクリックします。
2. ホストドロップダウンリストから目的の Host を選択します。
3. 設定変更を行いたい項目を確認します。各トリガー項目の名前の先頭に薄いグレーで「Template\_\*\*\*」という文字列が付与されている場合、その名称のテンプレートから継承された設定であることを表しています。その場合はホストドロップダウンからそのテンプレート名のホストを選択し、目的のトリガーを修正する必要があります。テンプレートを修正する場合、そのテンプレートを利用しているホストすべてに影響が及ぶため注意してください。
4. 設定変更を行うトリガー項目の「名前」をクリックします。

深刻度	ステータス	名前	条件式
警告	有効	Template_Linux:/etc/inetd.conf has been changed on server ZABBIX Server	{ZABBIX Server:vfs.file.cksum[/etc/inetd.conf]. diff( 0 )}>0
軽度の障害	有効	Template_Linux:/etc/passwd has been changed on server ZABBIX Server	{ZABBIX Server:vfs.file.cksum[/etc/passwd]. diff( 0 )}>0
軽度の障害	有効	Template_Linux:/etc/services has been changed on server ZABBIX Server	{ZABBIX Server:vfs.file.cksum[/etc/services]. diff( 0 )}>0
軽度の障害	有効	Template_Linux:/usr/bin/ssh has been changed on server ZABBIX Server	{ZABBIX Server:vfs.file.cksum[/usr/bin/ssh]. diff( 0 )}>0
軽度の障害	有効	Template_Linux:/usr/sbin/sshd has been changed on server ZABBIX Server	{ZABBIX Server:vfs.file.cksum[/usr/sbin/sshd]. diff( 0 )}>0
警告	有効	Template_Linux:/vmlinuz has been changed on server ZABBIX Server	{ZABBIX Server:vfs.file.cksum[/vmlinuz]. diff( 0 )}>0
軽度の障害	有効	Template_Linux:Apache is not running on ZABBIX Server	{ZABBIX Server:proc.num[httpd]. last( 0 )}<1
情報	有効	Template_Linux:Configured max number of opened files is too low on ZABBIX Server	{ZABBIX Server:kernel.maxfiles. last( 0 )}<512
情報	有効	Template_Linux:Configured max number of processes is too low on ZABBIX Server	{ZABBIX Server:kernel.maxproc. last( 0 )}<256
軽度の障害	有効	Template_Linux:Email (SMTP) server is down on ZABBIX Server	{ZABBIX Server:net.tcp.service[smtp]. last( 0 )}=0
軽度の障害	有効	Template_Linux:FTP server is down on ZABBIX Server	{ZABBIX Server:net.tcp.service[ftp]. last( 0 )}=0
情報	有効	Template_Linux:Host information was changed on ZABBIX Server	{ZABBIX Server:system.uptime. diff( 0 )}>0
情報	有効	Template_Linux:Hostname was changed on ZABBIX Server	{ZABBIX Server:system.hostname. diff( 0 )}>0
軽度の障害	有効	Template_Linux:IMAP server is down on ZABBIX Server	{ZABBIX Server:net.tcp.service[imap]. last( 0 )}=0
軽度の障害	有効	Template_Linux:Inetd is not running on ZABBIX Server	{ZABBIX Server:proc.num[inetd]. last( 0 )}<1
軽度の障害	有効	Template_Linux:Lack of free memory on server ZABBIX Server	{ZABBIX Server:vm.memory.size[free]. last( 0 )}<10000
重度の障害	有効	Template_Linux:Lack of free swap space on ZABBIX Server	{ZABBIX Server:system.swap.size[free]. last( 0 )}<100000
重度の障害	有効	Template_Linux:Low free disk space on ZABBIX Server volume /	{ZABBIX Server:vfs.fs.size[/,pfree]. last( 0 )}<10
重度の障害	有効	Template_Linux:Low free disk space on ZABBIX Server volume /home	{ZABBIX Server:vfs.fs.size[/home,pfree]. last( 0 )}<10
重度の障害	有効	Template_Linux:Low free disk space on ZABBIX Server volume /opt	{ZABBIX Server:vfs.fs.size[/opt,pfree]. last( 0 )}<10

- 下記の画面が開きます。
- 「条件式」の設定の最後に記述されている条件式を修正します。条件式に利用できる比較演算子は下記に記載します。
- 「保存」をクリックします。

トリガー

名前:

条件式:

次のトリガーに依存 依存しているトリガーはありません

依存関係の作成

イベント生成:

深刻度:

コメント:

URL:

無効

ZABBIX 1.6.4 Copyright 2001-2008 by SIA Zabbix / Powered by MIRACLE LINUX CORPORATION | 次のユーザでログイン中 'Admin'

- ✓ 条件式で利用できる比較演算子

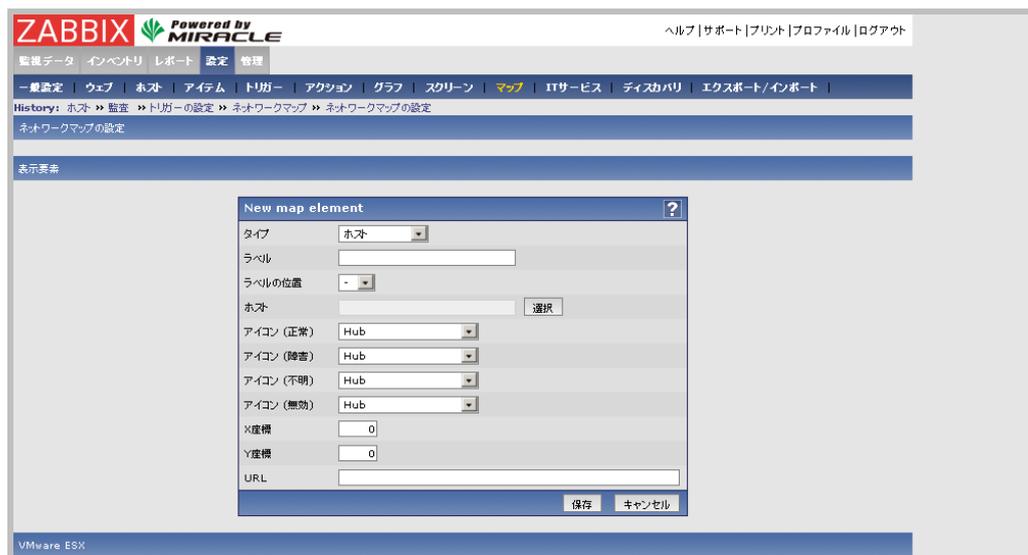
比較演算子	定義
>	大なり
<	小なり
#	ノットイコール
=	イコール

## 5.4 システムマップを変更する (マップ)

1. [設定]⇒[マップ]をクリックします
2. 表示されたリストから、設定を変更したいマップの列の右にある「編集」をクリックします

### 5.4.1 ホストのアイコンを追加する

1. 「表示要素」設定の右上にある「表示要素を追加」をクリックします。
2. 下記の画面が開きます。



3. 下記の表を参考に、各項目を入力します。

設定項目	説明
タイプ	ホストを選択
ラベル	表示名を設定。通常はホスト名を設定
ラベルの位置	ラベル(ホスト名や状態)を表示する場所
ホスト	表示するホストを選択
アイコン(正常)	通常時のアイコンを選択
アイコン(障害)	障害時のアイコンを選択
アイコン(不明)	不明時のアイコンを選択

<b>アイコン(無効)</b>	無効時のアイコンを選択
<b>X 座標</b>	マップ上の X 軸の数値を指定
<b>Y 座標</b>	マップ上の Y 軸の数値を指定
<b>URL</b>	アイコンをクリックした際のリンク先 URL を設定。設定しない場合は各ホストの障害/復旧状態の監視項目一覧画面のリンクが使用される

4. 「保存」をクリックします。

## 5.4.2 ネットワーク接続を追加する

1. 「コネクタ」設定の右上にある「コネクタの作成」をクリックします。
2. 下記の画面が開きます



3. 下記の表を参考に、各項目を入力します。

設定項目	説明
<b>アイコン 1</b>	始点となるアイコンを選択
<b>アイコン 2</b>	終点となるアイコンを選択
<b>状態識別用トリガー</b>	コネクションのステータスを決めるトリガーを選択
<b>タイプ(正常)</b>	正常時の線の種類を選択
<b>色(正常)</b>	正常時の線の色を選択
<b>タイプ(障害)</b>	異常時の線の種類を選択
<b>色(障害)</b>	異常時の線の色を選択

4. 「保存」をクリックします

## 5.5 ユーザとメールアドレスを設定する (ユーザ)

1. メニューから [管理]⇒[ユーザ]をクリックします。
2. ユーザー一覧から、設定を変更するユーザ名をクリックします。
3. 下記の画面が開くため、ユーザ名、パスワードなどの変更が必要な場合は設定を変更し、「保存」をクリックします。
4. メールアドレスの修正を修正する場合、「メディア」の項にあるチェックボックスにチェックを入れ、「選択を削除」ボタンをクリックして、不要なメールアドレスを削除します。
5. 「メディア」の項の「追加」ボタンをクリックします。

ユーザ

エイリアス

名前

名字

パスワード

パスワード(確認)

ユーザの種類: ZABBIXユーザ

グループ

追加

メディア: メディアが定義されていません

追加

言語: 英語 (GB)

テーマ: システムデフォルト

自動ログイン (1ヶ月):

自動ログアウト (最低90秒):  90

ログイン後のURL

更新 (秒): 30

ユーザの権限 (表示)

保存 キャンセル

ZABBIX 1.6.4 Copyright 2001-2008 by SIA Zabbix / Powered by MIRACLE LINUX CORPORATION | 次のユーザでログイン中 'Admin'

6. 下記の画面が開くため、「タイプ」は Email を選択し、「送信先」にメールアドレスを入力します。その他の項目はデフォルトのまま変更しないでください。
7. 「追加」ボタンをクリックします
8. 前の画面に戻るため、「保存」をクリックします。

## 6 付録

### 6.1 設定ファイル・ログファイル

ZABBIX サーバ、ZABBIX エージェントの設定ファイル、ログファイルについて解説します。

#### 6.1.1 ZABBIX サーバ

ファイル名	説明
<code>/etc/zabbix/zabbix_server.conf</code>	ZABBIX サーバの設定ファイル
<code>/etc/zabbix/zabbix.conf.php</code>	ZABBIX Web インターフェースの設定ファイル
<code>/var/log/zabbix/zabbix_server.log</code>	ZABBIX サーバのログファイル

#### 6.1.2 ZABBIX エージェント

設定項目	説明
<code>/etc/zabbix/zabbix_agentd.conf</code>	ZABBIX エージェントの設定ファイル
<code>/var/log/zabbix/zabbix_agentd.log</code>	ZABBIX エージェントのログファイル